



平和首長会議ニュース

2022年3月 / 第147号

平和首長会議加盟都市数

166 各国・地域 8,065 自治体

**加盟都市数 10,000 都市を
目指しています！**

日本国内加盟自治体数：1,736

(2022年3月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

🌐 ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

📘 フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

🐦 ツイッター:

<https://twitter.com/Mayors4Peace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆ウクライナの人々への連帯を示し、平和を呼び掛ける加盟都市の活動紹介
- ◆第10回平和首長会議総会の開催に向けて準備を進めています
- ◆子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2021
—各地で表彰・展示会が行われました！—
- ◆世界宗教者平和会議とオンライン会合を開催しました
- ◆加盟都市の活動紹介
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 166各国・地域 8,065自治体
- ◆専門委員によるレポート
- ◆平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆広島市立大学からのお知らせ: 2022年3月に『アジアの平和とガバナンス』を刊行
- ◆広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について

=====
■ウクライナの人々への連帯を示し、平和を呼び掛ける加盟都市の活動紹介
=====

ウクライナ情勢を受け、ウクライナの人々への連帯を示し、世界に平和を呼び掛ける活動の輪が広がっています。事務局に報告が寄せられた活動をご紹介します。

・ **平和首長会議会長**

侵攻の始まった2月24日、松井会長は一日も早い平和的解決に向けた外交努力を強く要請する[コメント](#)を公表し、3月16日には平和に向けた連帯を呼び掛け、今こそ核軍縮を進展させることの重要性和緊急性を強調する[メッセージ](#)を公表しました。

 **Mayors for Peace** @Mayors4Peace · 2月24日
#ウクライナ における武力衝突は、市民の犠牲を生んでいます。今後決して、核兵器を使用することがあってはなりません。一日も早い平和的解決に向けた外交努力を強く要請します。
[#平和首長会議](#)



・ **広島市(広島県)**

広島市議会は3月1日、平和的解決を求める[決議](#)を採択しました。

◀原爆ドーム前で行われた被爆者たちによる市民集会 (写真提供: HANWA)

・ **長崎市(長崎県)**

長崎市では、世界中の人々と連帯し、平和への願いを示すため、平和の泉と稲佐山電波塔がウクライナカラー(青・黄)にライトアップされています。





ロシアのウクライナ侵攻に対する
山中 竹春 横浜市長コメントについて

ロシアによるウクライナ侵攻を受け、別紙のとおり、コメントを発出します。

横浜市(神奈川県)

横浜市の山中市長は2月25日、姉妹都市であるオデッサ市(平和首長会議加盟都市)の市民の安否を案じ、即時の攻撃停止を求める[コメント](#)を発表しました。

ヨーロッパ支部

ヨーロッパ支部は2月25日、対話・協力・外交こそが平和的解決をもたらすと訴える[ステートメント\(英語\)](#)を発出しました。



Statement on the War in Ukraine

Representing European local and regional governments committed to defend peace in our cities and towns but also across the continent and the whole world, and following up on the call by the Mayor of Hiroshima and President of the Mayors for Peace network urging for a diplomatic solution to the conflict in Ukraine, we issue the following statement:

- We urge the Russian government and perpetrators of the current escalation and territorial aggression in Ukraine to put an end to hostilities, respect international law and commit to reinvigorated diplomatic efforts: **Dialogue, cooperation and diplomacy are the only valid mechanisms to ensure a peaceful resolution to conflict.**



ドイツ支部

世界の平和を望む人々との連帯を示そうと、副会長都市であるハノーバー市の呼び掛けに即応した約30のドイツの加盟都市が市庁舎に平和首長会議の[旗を掲揚](#)しました。その後もこの取組が更に広がる中で、これまでに58の都市が加盟を表明しました。

・ フランス支部

フランス支部は2月24日、平和のために力を合わせるよう呼び掛け、平和実現への決意を再確認するコミュニケ (フランス語) を発出しました。



ACCUEIL QUI SOMMES-NOUS? ADHÉRER À L'AFCDRP OUTILS ACTIVITÉS RESSOURCES

Communiqué AFCDRP-Maires pour la Paix Ukraine

Par admin 24 février 2022

Madame, Monsieur,

Nous vivons un jour sombre pour l'Europe. Après des mois de tensions, et suite à la reconnaissance unilatérale du gouvernement de Vladimir Poutine de l'indépendance des territoires de Donetsk et de Lougansk le 21 février, les troupes russes ont envahi les territoires ukrainiens de l'Est ce matin, violant l'intégrité territoriale et la souveraineté de l'Ukraine; actions incompatibles avec les principes de la Charte des Nations unies.



・ マラコフ市(フランス)

マラコフ市では2月28日、ベロム市長や市議会議員、平和団体などが市庁舎前に集い、早急な平和交渉を呼び掛けました。

・ グリニー市(フランス)

グリニー市のリオ市長は3月5日、パリ市で行われた平和マーチに参加し、スピーチでは「都市外交や自治体間のネットワークが平和文化の振興を推進する」と訴えました。



上記のほか、特にヨーロッパにおいて、様々な活動が行われました。平和首長会議ヨーロッパ支部のウェブサイトを紹介があります(英語)。

<https://www.mayorsforpeace.eu/3952-2/>

=====
■第10回平和首長会議総会の開催に向けて準備を進めています
=====

新型コロナウイルスの感染拡大により、2020年から二度延期している第10回平和首長会議総会は、今年8月4日(木)午後から5日(金)までの日程で、広島市において平和首長会議設立40周年記念を兼ねて開催する方向で準備を進めています(詳細なスケジュールや申込方法、宿泊等については今月末頃にお知らせします)。

海外からの来訪が難しい状況が続くことが見込まれますので、国内からより多くのご出席を賜りたいと考えています。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

- ※ 第10回平和首長会議国内加盟都市会議総会は、本総会の1プログラムとして開催します。
- ※ 出席負担金(1人当たり8,000円を予定)が必要です。ただし、日本非核宣言自治体協議会の会員は1自治体につき最大2人まで全額が補助される見込みです。詳しくは同協議会事務局(長崎市平和推進課:TEL 095-844-9923)にお問い合わせください。

 過去の総会の様子(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/conferences/>

=====
■子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2021
— 各地で表彰・展示会が行われました! —
=====

平和首長会議では、加盟都市における平和教育の更なる充実を図るため、2018年から全加盟都市の子どもたちを対象とした“平和なまち”絵画コンテストを実施しています。

2021年は、世界18か国105都市に寄せられた4,166作品から12作品が入賞作品として選ばれました。この度、加盟都市の市長が入賞者に、賞状と記念品を贈呈するなどして、入賞を称えました。



▲ 広島市(広島県)

入賞おめでとうございます &
ご応募ありがとうございました!



▲ 半田市(愛知県)



▲ 相模原市(神奈川県)

入賞作品はこちら(平和首長会議ウェブサイト):
http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives_art/2021_result.html

続いて、本事業への参加自治体が、このコンテストへの応募作品を展示した事例をご紹介します。

● 取手市(茨城県)からの報告

取手市では、1985年12月1日に「非核兵器平和都市宣言」を行い、さまざまな平和啓発事業を実施しています。

その一環として、戦後75年の節目であった昨年度から、未来を担う世代への平和啓発のために「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト」に参加しています。2回目となる今年度も市内の小・中学校へ募集をしたところ、昨年度から2校・117作品増え、13校から252作品の応募がありました。

応募のあった作品の展示を、2022年1月12日から2月1日までの3週間にわたり、1週目と2週目は取手駅市民ギャラリーで、3週目は藤代駅市民ギャラリーで行いました。学校ごとに期間を分けて展示しましたが、取手市代表作品の10作品は期間を通して展示しました。また、子どもたちが作品に込めた平和のメッセージもあわせて展示しました。

駅市民ギャラリーは駅の地下通路や改札前に併設されているため、取手市民に限らず、多くの人に見ていただくことができました。コンテストへの参加や作品展開催が平和について考えるきっかけになることを期待しています。



また、荒川区(東京都)や京田辺市(京都府)で開催された展示会の写真をお寄せいただいたので、ご紹介します。



荒川区(東京都)



京田辺市(京都府)

このコンテストが、子どもたちにとって絵の制作を通じて平和について考えるきっかけとなることを願っています。2022年も同コンテストを実施する予定ですので、是非ご参加ください！

=====
■世界宗教者平和会議とオンライン会合を開催しました
=====



2月18日、平和首長会議事務局は世界宗教者平和会議(WCRP)ストップ！核依存タスクフォースとオンライン会合を実施しました。宗派を越えて、世界規模で様々な平和構築活動を推進している同団体は、核兵器廃絶という共通目標を持ち、長年にわたり平和首長会議を支援してくださっています。

本会合では、小泉事務総長が同委員会からの支援に謝意を表すとともに、昨年7月に策定した「[持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン\(PXビジョン\)](#)」の概要と具体的な取組について説明しました。

参加者からは、世界90か国以上の諸関係団体とのネットワークを活用し、「平和文化の振興」を共に推進していきたいという声上がる等ビジョンへの賛同の意見を頂き、引き続き核兵器廃絶という共通目標に向けて連携していく旨を確認しました。

=====
■加盟都市の活動紹介
=====

●横浜市(神奈川県)「わが命つきるともー神父たちのヒロシマと復活への道ー」

横浜市では、「横浜市国際平和の推進に関する条例」を踏まえ、国際平和に関する市民のみなさまの理解が深まるよう、国際平和講演会などの取組を行っています。

令和3年度(2021年度)は「わが命つきるともー神父たちのヒロシマと復活への道ー」と題した国際平和講演会を会場開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況からオンデマンド配信としました。

講演会では、最初に、広島で自ら被爆しながらも人々を救おうとした外国人神父たちの体験記を紹介する企画展を開催されている国立広島原爆死没者追悼平和祈念館の橋本公様より、平和への思いや若い世代への平和伝承についてお話いただきました。

続いて、横浜市の児童生徒の代表として国際平和への意識を高め、国際平和の大切さを広く呼び掛ける「よこはま子どもピースメッセンジャー」のみなさんから活動報告をいただきました。

動画を通して、平和や多文化共生について考えてみませんか。ぜひご視聴ください。



写真提供:横浜市

🔗 横浜市国際平和講演会の動画(横浜市ウェブサイト)

<https://www.city.yokohama.lg.jp/cityinfo/seisaku/kokusai/peace/keihatsu/R3kouenkai.html>

● 高知市(高知県)「核兵器 終わりの始まり～核兵器禁止条約発効後の世界～」

高知市では、広島に原子爆弾が投下された8月6日を「高知市平和の日」と定め、平成元年(1989年)から「高知市平和の日」記念事業を実施しています。主催団体は高知市のほか、高知市教育委員会、「高知市平和の日」記念事業実行委員会の三者で、事業のメインとなる企画資料展では、毎年のテーマに合わせたパネルや実物資料等を展示しています。また、テーマに関連する講師を招いての講演会や映画作品の上映会等を関連事業として実施しています。

令和3年度(2021年度)は、核兵器禁止条約が令和3年(2021年)1月22日に発効となったことにちなみ、「核兵器 終わりの始まり～核兵器禁止条約発効後の世界～」と題し、核のない世界への第一歩となる条約発効について解説するパネルを展示しました。

また、小学4年生～中学3年生を対象に募集した「平和への思い」作品展および表彰式も同時開催し、受賞した子どもたちからは、作品に込めた平和への思いを語ってもらいました。

高知市では本事業以外にも、市街地が甚大な被害を受けた高知空襲による犠牲者を追悼する「高知市平和祈念式」を開催するなど、次世代へと平和思想を継承するため今後も平和を推進していく予定です。

詳細は[ホームページ](#)にも掲載しています。ぜひご覧ください。



左上:オープニングセレモニー、右上:企画展、左下:高知市平和祈念式、右下:平和祈念講演会
写真提供:高知市

 令和3年度「高知市平和の日」記念事業の開催について(高知市ホームページ)

<http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/7/03heiwa-kinen.html>

<< 貴自治体の平和活動の情報をお知らせください >>

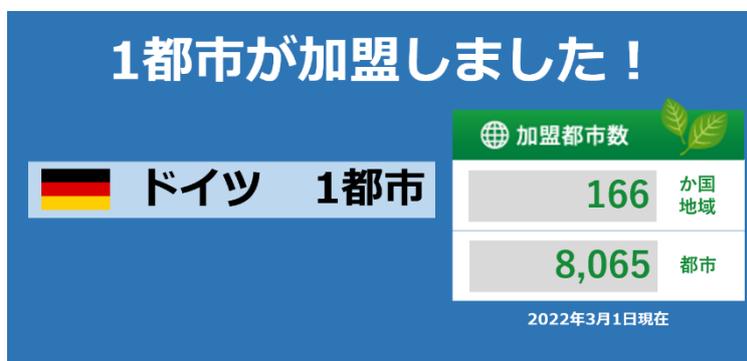
平和首長会議事務局では、[行動計画](#)に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事等の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介します。特に、次代の平和活動を担う青少年の育成に関する事業や、「平和文化の振興」に寄与する活動について、ご報告いただけますと幸いです。

是非、短文のご報告(最大400字程度)を写真とともに、平和首長会議事務局までお寄せください。

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

=====
■平和首長会議加盟自治体数: 166 か国・地域 8,065 自治体
=====

3月1日付で、ドイツから1自治体(ツェットリッツ)が加盟し、加盟自治体数は8,065となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。



加盟都市数**10,000都市**を目指しています！ 

平和首長会議では、核兵器のない平和な世界の実現に向けた大きな潮流をつくるため、**10,000都市加盟**を目指し、加盟拡大に取り組んでいます。海外の姉妹・友好自治体で、平和首長会議に未加盟の自治体がある場合は、是非加盟の呼び掛けにご協力をお願いします！

 3月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/03_newmembers/2022/newmembers2203_jp.pdf

 加盟都市数一覧(国・地域別) (PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/01_monthly_updating/07_membership_by_country_jp.pdf

=====
■専門委員によるレポート
=====

● **核兵器禁止条約第1回締約国会議とNPT再検討会議の開催日程について**

報告：平和首長会議専門委員 トーマス・ハイノツィ氏

核兵器禁止条約(TPNW)の締約国は、3月22日から24日までで予定していた第1回締約国会議について、新型コロナウイルス感染拡大による延期後の会期を6月21日から23日までと決定しました。開催地は、オーストリア・ウィーンです。初めての開催となるこの会議は、条約の今後の展開を決める非常に重要なものとなり、また、核軍縮の議論の場に市民社会の参加をこれまで以上に積極的に受け入れるモデルケースとなります。締約国は、第1回締約国会議で決定すべき主要事項について定期的に協議の場を持っており、共通認識を確立するための試みを進めています。

また、会議開始前日の6月20日には、オーストリアがホスト国となり、同じ会場で「核兵器の人道的影響に関する会議」が開催されることも決まりました。この会議は2013年から2014年にかけて、これまでに3度開催されたもので、前回の開催から時間が空いています。今回は、最新の科学的知見をもって、核兵器の人道的影響という核軍縮における極めて重要な議題に、再び焦点を当てるものとなるでしょう。

核兵器禁止条約の締約国会議と同様、NPT(核兵器不拡散条約)再検討会議も延期を余儀なくされてきました。この会議は、当初、2020年春の開催が予定されていたものです。複数回の延期を経て、この度、今年の8月1日から26日までのニューヨークでの開催が決定しました。ウクライナにおける戦争を背景に、核兵器国はこれまで以上に態度を硬化させ、核軍縮を進展させるような合意に至る見込みは残念ながら薄いと予想されます。

【開催日程まとめ】

・核兵器禁止条約(TPNW) 第1回締約国会議
2022年6月21日～23日 オーストリア・ウィーンにおいて

・核兵器不拡散条約(NPT) 第10回再検討会議
2022年8月1日～26日 米国・ニューヨークにおいて

今、日々私たちが目にしているとおり、核兵器はその保有者を壊滅的な戦争へと駆り立てます。ウクライナの悲惨な現況は、核兵器の完全廃絶に向けた法的禁止がいかに重要で緊急を要するか、示すものです。

(この記事はハイノツィ専門委員が英語版のメールマガジン2月号・3月号に寄稿したレポートを事務局で翻訳し、まとめたものです。)

=====
■平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
=====

昨年7月にオンラインで開催した第12回平和首長会議理事会において、「[平和首長会議行動計画\(2021年-2025年\)](#)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた取組の推進にご協力ください。

🔗 「平和首長会議行動計画(2021年-2025年)」(PDF):
http://www.mayorsforpeace.org/jp/conferences/executive/data/12th_ec/PX_Vision_Action_Plan_jp.pdf

🔗 行動計画に基づく取組(平和首長会議ウェブサイト):
<http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives.html>



=====
■平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
=====

平和首長会議事務局では、自治体、学校、NGO等、様々な実施主体による平和教育の取組事例を「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介することにより、そうした活動の広がりを促進していくため、各加盟都市において実施されている平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています。

これまでにお寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

🔗 平和を希求する心を育てる取組の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):
http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives_edu_examples.html

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。いただいた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:
Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp
TEL:082-242-7821 FAX: 082-242-7452

=====
■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
=====

平和首長会議では、行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

今年度においても、すでに多くの加盟都市から配付の申請をいただいております。ありがとうございます。引き続き申請を受け付けておりますので、是非ご検討いただければ幸いです。なお、この事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。

また、被爆樹木二世を活用した取組（植樹式や啓発活動を行ったり、平和教育の教材として活用した例など）がありましたら、是非事務局にご報告ください。このメールマガジンや、平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介します。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

 被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード：
http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives_tree.html



=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第 89 回）
=====

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

ロシア軍の侵攻により、ウクライナの市民が重大な人道危機に見舞われています。カズクで他国を支配する、しかも核兵器の脅しを使って達成を目指すことなど、決して、一切許されません。無差別に市民が犠牲になるばかりです。ウクライナ国内の原子力発電所が、この戦争の中で攻撃対象になっています。身の毛もよだつような恐ろしいことです。仮に最悪の事態に発展した場合、プーチン大統領が尊い幾多の命について責任を取るのでしょうか。そうはならないでしょう。

「誰一人として、市民の犠牲を出してはならぬ」と、広島からクレムリンに向けて戦争犯罪追及のメッセージを送らねばなりません。実際に広島市内でも、さまざまな「戦争反対」の訴えが渦巻いています。「ロシアは核兵器を持っているからこそ、何をしても許された」と国際社会が認識するような結末になってはいけません。夏にも開催される核兵器禁止条約の締約国会議と、核拡散防止条約(NPT)の再検討会議の成果が厳しく問われてくることでしょう。

関連記事は次のアドレスで読めます。

広島県 国々募り核廃絶議論 核保有&非保有国に呼び掛け 23年度にも「フレンズ会合」計画
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=116271>

プロ化50年 広響ものがたり 第1部 焦土からの出発 <1> 手弁当楽団 学生や僧侶 85人寄り合う
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=116342>

交響曲に芽吹く被爆樹木の命 米作曲家「黒い雨に続く希望の緑」 広島市の市民活動から着想
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=116609>

被爆直後の広島撮影 6人の遺影を登録 平和祈念館
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=116732>

核廃絶 首相が先導を サローさん、書簡送る
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=117252>

=====
■広島市立大学からのお知らせ:2022年3月に『アジアの平和とガバナンス』を刊行
=====

広島市立大学広島平和研究所は2022年3月に『アジアの平和とガバナンス』を発刊しました。

本書は、広島平和研究所の教員をはじめとする研究者およびマスメディア専門家の執筆による学術研究書であり、3年前に広島平和研究所が編集した『アジアの平和と核-国際関係の中の核開発とガバナンス』(共同通信社、2019年2月)の続編です。

核開発が進むアジアの国際関係の構造と核開発国のガバナンスの実相を明らかにするとともに、アジアにおける地域ガバナンスの制度化の現状、そして日本の安全保障における核兵器の役割を問うことを目的としています。

(吉川元・広島市立大学広島平和研究所特任教授)

本書の概要は広島平和研究所のウェブサイトでご覧いただけます。

 紀要『広島平和研究』(広島平和研究所ウェブサイト)
<https://www.peace.hiroshima-cu.ac.jp/archive/a-comprehensive-study-of-peace-and-governance-in-asia/>

=====
■広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について
=====

核兵器禁止条約は昨年1月22日に発効し、現在59か国が批准しています。日本政府の署名・批准は、平和首長会議が目指す「核保有国を始め全ての国がこの条約に参加」するための道づくりとなるものです。

広島被爆者7団体が推進する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力ください。

 「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」署名用紙
<http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/data/2021/syomei.pdf>

このメールマガジンに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町 1-5
(公財)広島平和文化センター 平和首長会議運営課
TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452
Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

平和首長会議メールマガジンの最新号やバックナンバーは、次のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/statements/newsflash.html>

【平和首長会議公式SNSアカウント】

〈ツイッター〉 

<https://twitter.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉 

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！